

基本目標4「快適なまち」における意見の整理（事務局案）

No.	施策	頁	ご意見等の内容	事務局案	区分
1	計画的な土地利用	57	柔軟な土地利用を具体的にどの計画・制度へ反映するのか記載してはどうか	主要な意見として以下の内容で整理します。 「総合計画に示す土地利用やまちづくりの方向性に沿って、都市計画マスタープランや立地適正化計画をはじめとする関連する個別計画や各種制度との整合を図りながら、具体的な取組を進められたい。」	主要意見
2	防災・防犯のための基盤の整備	62	本施策について、立地適正化計画との関係性を記載してはどうか。		
3	計画的な土地利用	57	野生動物との棲み分けについて土地利用の観点から検討できないか	主要な意見として以下の内容で整理します。 「有害鳥獣などによる被害の防止に向け、森林や里山、農地の適切な管理など、関係する施策を横断的に捉えた取組を進められたい。」 ※基本目標3で整理します。	主要意見
4	計画的な土地利用	57	田園まちづくり制度について行政からの働きかけという視点を記載してはどうか	原案を以下のとおり修正します。 施策の方向性 地域特性を生かした土地利用の推進 「地域の特性を尊重し、地区計画や田園まちづくり制度などの活用を地域とともに進めることにより、周辺環境の保全を図りながら、柔軟で計画的な土地利用を進めます。また、公共施設跡地の活用や産業系土地利用のニーズにも対応した民間活力による柔軟な土地利用を促進します。」	原案修正
5	計画敵な土地利用	57	コンパクトなまちづくりを進める中で、周辺自治体との関係や加古川市が果たす役割を考えるうえでも、市外から加古川市がどのように見られているのかという視点を取り入れてはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「人口減少が進む中で持続可能なまちづくりを進めるに当たっては、市内だけでなく、周辺自治体との関係や市外から見た本市の姿など、広域的な視点も踏まえた取組を進められたい。」 ※総括意見として整理します。	主要意見
6	計画的な土地利用	57	加古川市は住みやすいまちである一方で、住みやすさを求める中で生じている制約やその弊害についても考える必要があるのではないかな。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「まちづくりに当たっては、安全性や快適性の確保だけでなく、市民の多様な活動やニーズとのバランスにも配慮しながら、誰もが暮らしやすく活動しやすい環境づくりを進められたい。」 ※総括意見として整理します。	主要意見
7	都市拠点機能の充実	58	駐車場・駐輪場について、どの程度不足しているのか具体的な数値はあるか。現状を数値で示した方が、課題を把握しやすいのではないかな。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「駐車・駐輪対策については、実際の利用状況を把握するとともに、需要に応じた供給が確保されているかという視点も踏まえ、取組を進められたい。」	主要意見
8	都市拠点機能の充実	58	「魅力ある都市拠点の形成」について、どのような駅前を目指し、それによって何を実現するのが分かるよう、加古川の地域特性や魅力を含め、目指す都市拠点の姿をより明確にしてはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「本市の地域特性や魅力を踏まえ、JR加古川駅周辺が果たすべき役割や目指す都市拠点の姿を明確にするるとともに、人の滞在や交流がまちのにぎわいや活力につながるよう、駅周辺のまちづくりを進められたい。」	主要意見
9	都市拠点機能の充実	58	駅前空間について、イベント等による一時的なにぎわいだけでなく、日常的な滞在や人との緩やかなつながりを生み出す場としての役割についても記載してはどうか。	P28の原案を以下のとおり修正します。 1 都市拠点(1)加古川都心 「～多様な世代が安心して訪れ、日常的に滞在し、交流や活動が生まれる環境を整えることで、魅力あふれる都市拠点の形成を進めます。」	原案修正

10	生活に身近な道路の整備	63	道路・歩行空間の整備については、自転車利用者だけでなく、車椅子やベビーカーを利用する人など、多様な利用者が安全・快適に移動できるという視点も必要ではないか。特に加古川駅前においては回遊性ということを重視してゐるため、そういった視点を盛り込んでよいのではないか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「道路や公共空間の整備に当たっては、多様な人が安全で快適に移動し、利用できるよう、それぞれの利用者の視点に立った取組を進められたい。特に、加古川駅周辺の回遊性の向上に当たっては、移動のしやすさに加え、休憩や滞在のしやすさにも配慮した空間づくりを進められたい。」	主要意見
11	安全で安定した水道水の供給	65	加古川駅周辺で給水ポイントを設置してみてはどうか。		
12	都市拠点機能の充実	58	加古川駅周辺について、天候に左右されず移動できるよう、駅と周辺の商業施設や商店街等をつなぐ空間への屋根の設置を検討してはどうか。		
13	公共交通機能の確保	60	バス等の公共交通だけでなく、高齢者や障がい者等へのタクシー料金助成など、公共交通を補完する移動支援の充実についても検討してはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「高齢者や障がいのある人をはじめ、移動に支援を必要とする人が住み慣れた地域で安心して暮らし、社会参加できる環境を確保するため、公共交通施策と福祉施策等を横断的に捉え、公共交通を補完する多様な移動手段や支援のあり方について検討されたい。」	主要意見
14	公共交通機能の確保	60	自動車への依存度が高い地域においても、将来自動車を運転できなくなった場合に安心して住み続けられるよう、「車がなくても暮らせる地域」のモデル的な検証など、交通空白地域への対応を進めてはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「自動車への依存度が高い地域においても、将来自動車を運転できなくなった場合に安心して住み続けられるよう、「車がなくても暮らせる地域」のモデル的な検証など、交通空白地域への対応を進めてはどうか。」	主要意見
15	公共交通機能の確保	60	公共交通について、運行サービスだけでなく、待ち時間を快適に過ごせる環境づくりなど、利用環境を周辺から支える視点も盛り込んでどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「待合環境の整備や乗り継ぎ等の情報提供など、利用者の視点に立った利用環境の向上に向けた取組を進められたい。」	主要意見
16	防災・防犯のための基盤の整備	62	近年の気温上昇により熱中症が新たな課題となっていることから、関係機関との連携も含め、熱中症対策について総合計画に位置付けてはどうか。	P46の原案を以下のとおり修正します。 施策の方向性 主体的な健康づくりの推進 「個人の健康意識の向上を図り、ライフステージに応じた主体的な健康づくりを推進します。また、食育を推進するとともに、禁煙の推進や受動喫煙の防止、総合的な自殺対策、関係機関と連携した熱中症予防の啓発など、身体と心の両面からの健康づくりを進めます。」	原案修正
17	防災・防犯のための基盤の整備	62	住宅への内窓の設置について、省エネルギーだけでなく防犯面での効果も期待できることから、設置への支援を検討してはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「市民が安全で安心して暮らせる地域づくりに向け、地域における防犯活動や啓発に加え、各家庭で取り組む防犯対策への周知なども含め、様々な視点から犯罪被害の未然防止に資する取組を進められたい。」 ※基本目標2で整理します。	主要意見
18	生活に身近な道路の整備	63	自転車通行空間等のハード整備だけでなく、法改正を踏まえた交通ルールについて、警察、市、学校、事業者等が連携して周知・啓発を進めるという視点も必要ではないか。	P50の原案を以下のとおり修正します。 施策の方向性 交通安全教育・啓発の推進 「高齢者や自転車利用者の事故防止に重点を置きつつ、関係機関と連携して交通ルールの周知・啓発をはじめとする交通安全対策を推進します」	原案修正
19	良好な住環境の確保	64	高齢者の単身世帯など、住宅の確保が困難な人もいることから、住宅セーフティネットに関する取組を着実に進めてほしい。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「高齢者の単身世帯をはじめ、住宅の確保に配慮を要する人が安心して暮らし続けられるよう、公営住宅だけでなく、民間賃貸住宅の活用や事業者との連携も含め、住宅セーフティネットの機能強化に向けた取組を着実に進められたい。」	主要意見

20	良好な住環境の確保	64	空き家対策について、発生した空き家への対応だけでなく、空き家の発生を未然に防ぐ「発生予防」という視点も取り入れてはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「空き家対策については、適正管理や利活用に加え、空き家の発生予防の視点を重視し、空き家の発生を未然に防止するための取組を進められたい。」	主要意見
21	防災・防犯のための基盤の整備	62	災害時の避難所環境等を踏まえ、体育館への空調設備の整備や、地震に伴う火災を防止するための感震ブレーカー等の対策について検討する必要があるのではないかな。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「災害時における市民の安全・安心を確保するため、避難所環境の充実や、大規模地震に伴う火災の未然防止など、災害時の被害軽減に向けた取組を着実に進められたい。」 ※基本目標2で整理します。	主要意見
22	その他		私立学校への進学を取り巻く環境の変化により、市外の学校への進学が増加し、将来的な人口流出等にもつながる可能性があることから、市としてもこうした動向を考慮する必要があるのではないかな。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「高校進学を取り巻く環境の変化が、若い世代の市外流出や将来的な定着に与える影響についても注視し、教育分野に限らず幅広い視点から必要な取組を検討されたい。」 ※総括意見として整理します。	主要意見
23	その他		学校や公共施設の再編については、単に施設を統合するだけでなく、再編後の交通手段の確保についても一体的に検討することが重要ではないかな。	主要意見として以下の内容で整理します。 「学校や公共施設の再編に当たっては、施設の統合や配置だけでなく、再編後の利用者の交通手段の確保など、市民生活への影響も踏まえ、一体的に検討されたい。」 ※総括意見として整理します。	主要意見
24	その他		「川のまち」という加古川の特徴を生かし、河川敷での催しなどをさらに活用してはどうか。	主要意見として以下の内容で整理します。 「本市のシンボルである加古川をはじめとする水辺空間について、地域の特色や魅力を生かし、市民の交流やにぎわいにつながる活用をさらに進められたい。」 ※基本目標5で整理します。	主要意見
25	その他		生涯学習の重要性が高まる中、これまでの老人大学の取組なども生かし、「生涯学習のまち」といった特色を打ち出すことで、市内外から人を呼び込むことにもつながられるのではないかな。	主要意見として以下の内容で整理します。 「これまで培ってきた生涯学習に関する取組を生かし、多様な学びの機会や学習成果を地域で生かす環境づくりを進めるとともに、生涯学習を本市の魅力の一つとして市内外に発信するなど、その特色を生かした取組を進められたい。」 ※基本目標1で整理します。	主要意見